国語科 学習指導案

府立北かわち皐が丘高等学校

2. 場 所 第1学年6組 HR 教室

3. 学年・組・教科(科目) 第1学年6組(40名)・国語総合(現代文分野)

4. 単元(題材)名 「よく飛ぶ紙ヒコーキの折り方」(表現)

5. 単元 (題材) の目標

・書いた文章について、自己評価や相互評価を行って、自分の表現に役立てようとしている。

(関心・意欲・態度)

- ・書いた文章について、自己評価や相互評価を通して見直し、効果的な書き方を理解して自分の表現に 役立てる。 (書く能力)
- ・文章の組み立てや、比喩表現などの表現技法について、その効果を理解することができる。

(知識・理解)

6. 生徒観

(略)

7. 指導観

「紙ヒコーキ」という身近な題材を使って、自分の考えている「紙ヒコーキ」を説明することを通 して、どれだけ他者に正確に伝わっているのか、視覚的に実感させたい。その上で、どのような表現 (書き方)が効果的なのかを自ら気付き、生かせるように促していく。

8. 単元 (題材) の評価規準

	a 関心・意欲・態度	c 書く能力	<i>e</i> 知識・理解
1	文章の記述について自己評	① 自分の考えを相手に文章で	文章の組立てや比喩表現などの
	価や相互評価しようとして	説明することができる。	表現技法について、その効果を理
	いる。	② 相手がどう受け取るのかを	解することができる。
2	的確な表現を自分の文章に	意識して、文章を工夫して	
	取り入れようとしている。	書くことができる。	

9. 単元の指導と評価の計画(全3時間)

*○必要に応じて評価する (指導に生かす評価)

◎全生徒を評価する (記録に残す評価)

時	学習内容	評価の観点*					主な評価規準・評価方法	
,	于自 以 在		b	С	c d e		工名引圖列士 引圖刀五	
	・文章を書くときに気をつけているこ	0		0			【a、c①】自分なりに読み手に伝わるよう	
	とやわかりやすい文章に必要な要素		/				に工夫して文章を書いている。	
第1時	について話し合い、共有する。						(観察・記述の点検)	
	・目標を意識しながら、紙ヒコーキの		/					
	折り方について箇条書きで説明する。		/					
	・代表生徒4人が書いた文章を見なが	0		0		0	【a①、c①】代表の4つの文章につい	
	ら、紙ヒコーキを実際に折る。						て、相互評価しながら、自分の書いた文章	
第2時	・4人の文章を相互評価し、自分の書						を自己評価しようとしている。	
本時	いた文章を自己評価し、効果的な表現						(観察)	
	や改善すべき点に気付く。						【e】読み手に誤解なく説明するために	
							効果的な説明の仕方や表現技法について	
			/				理解している。 (記述の点	
							検)	
	・前回の発表や効果的な表現の学習を	0		0		0	【a②】説明の順序や効果的な表現技法を	
	踏まえ、もう一度同じ題で書き直しを						取り入れて、文章を書こうとしている。	
	行う。						(記述の点検)	
							【c②】今までの自分の文章と比べて、	
第3時					より読み手を意識した文章になるよう工			
							夫している。 (記述の点検)	
							【e】読み手に誤解なく説明するために	
					効果的な説明の仕方や表現技法について			
							理解している。 (記述の点検)	

10. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・相手に誤解なく伝えるために、必要な説明の順序や効果的な表現技法を理解する。
- ・発表された文章や自分の書いた文章を、相互評価、自己評価することができる。

(2) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
5分	・前時の復習	・前回自分が書いた文章を返却する。	
導	・本時の目標を確認する。	※授業の目標を意識させる。	
入		「相手に誤解なく伝えるためには何が	
		必要か実感しよう」	
40分	・代表生徒4人の説明を抜	①~④のプリントを配付する。	
	粋したプリントと折り紙	・折り紙を準備し、①~④の順にプリン	
展	を全員に配付する。	トの説明に従って全員でその手順に沿って折り紙を折らせる。	
開			

 ・代表生徒が、自分で書いたものを手順に従って設し:例えば「半分に折る」という説明では無解につながったのかを考えような説明になっている。どうけは一つずつ行い、そのたびに誤解なく伝わっている。 が、表現方法を考える。						
明する。		・代表生徒が、自分で書い	※プリントについて	・誤解された文章について、なぜ誤解につながったのかを考		
明する。 ※プリント①~④の説明 は一つずつ行い、そのたびに誤解なく伝わっている か、確認しながら進める。 誤解があったものは、実際はどう表現することが適切かを訂正しながら進める。 ・代表生徒の発表から、なぜ誤解されたのか、なぜうまく伝わったのかを話し合う。 (随時発表) ・代表生徒の発表から、なせ誤解されたのかな話し合う。 (随時発表) ・ () () () () () () () () () (たものを手順に従って説	①:例えば「半分に折る」という説明で			
は一つずつ行い、そのたび に誤解なく伝わっている か、確認しながら進める。 誤解があったものは、実際 はどう表現することが適 切かを訂正しながら進め る。 ・代表生徒の発表から、な 世誤解されたのか、なぜう まく伝わったのかを話し 合う。 (随時発表) (随時発表) (随時発表) (施力を変を見直し、足 ま と かのかりを見直し、足 ま と あ。 ・自分の文章を見直し、足 ま と る。 れば統一された形に折らせることがで きるか、表現方法を考える。 ・複雑すぎたり、独創的すぎた りする例えなどは、かえって 手に伝わらないことを理解している。 (観察) ・たとえば「長方形になるよう に折る」や「家の方まだり、実際なく伝えるために必要なように大力を強いの必要や説明の仕方な と、決解なく伝えるために必要な、 の必要な要素であることに気付かせる。 ・※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境 づくりに配慮する。 ・自分の書いた文章を見直し、 自己評価をする。		明する。	は三角形・長方形など様々な解釈がで	(観祭)		
に誤解なく伝わっている か、確認しながら進める。 誤解があったものは、実際 はどう表現することが適かったり、複雑過ぎたりして、かえって 切かを訂正しながら進め る。 ・代表生徒の発表から、なせ誤解されたのか、なぜうまく伝わったのかを話し合う。 (随時発表) のがある。 (随時発表) ・ は できるだけその解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・ 自分の文章を見直し、足りない箇所を次の時間で書き直すように指示する。 ・ 自つの書いた文章を見直し、足りない箇所を次の時間で書き直すように指示する。 ・ 複雑すぎたり、独創的すぎたりする例えなどは、かえって相手に伝わらないことを理解している。 (観察) ・ たとえば「長方形になるように折る」・ たとえば「長方形になるように折る」や「家のような形」など、比喩の効果や説明の仕方など、比解なくなえるためがよるための必要な要素であることに気付かせる。 ・ ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・ 自分の文章を見直し、足りない箇所を次の時間で書き直すように指示する。		※プリント①~④の説明	きるような説明になっている。どうす			
に誤解なく伝わっている か、確認しながら進める。 誤解があったものは、実際 はどう表現することが適 切かを訂正しながら進め る。 ・代表生徒の発表から、な 世誤解されたのか、なぜう まく伝わったのかを話し 合う。 (随時発表) (随時発表) (随時発表) (があいるの必要な要素であることに気付かせ る。 ・自分の文章を見直し、足 ま りなかったところを考え と る。 ジ、③・表現が一部の人にしか分からな (観察) (のませんの人にしか分からな が、説明の仕 方を意識させる。 ・たとえば「長方形になるように折る」や「家のような形」な と、説解なく伝えるために必要なことに気付かせ る。 ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・自分の文章を見直し、足 ま りなかったところを考え と る。		は一つずつ行い、そのたび	れば統一された形に折らせることがで	・ 指揮子 ギャ M - Xh会listy子 ギャ		
か、確認しなから連める。 誤解があったものは、実際 はどう表現することが適 かったり、複雑過ぎたりして、かえって 分かりにくい書き方をしている。どう る。 ・ 代表生徒の発表から、な 世誤解されたのか、なぜう まく伝わったのかを話し 合う。 (随時発表) ・ がる手順や指示が丁寧に書かれていた り、折る手順や指示が丁寧に書かれている説明が読み手に誤解なく伝えるための必要な要素であることに気付かせる。 ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境 づくりに配慮する。 ・ 自分の文章を見直し、足 ま りなかったところを考え と る。 ・ 自己評価をする。 ・ 自己評価をする。 ・ 自己評価をする。	に誤解なく伝わっている		きるか、表現方法を考える。	りする例えなどは、かえって相		
 誤解があったものは、実際 はどう表現することが適 切かを訂正しながら進め かったり、複雑過ぎたりして、かえって 分かりにくい書き方をしている。どう すればわかりやすくなるか、説明の仕 方を意識させる。 ・代表生徒の発表から、な 世誤解されたのか、なぜう まく伝わったのかを話し 合う。 (随時発表) (随時発表) (随時発表) (があ手に誤解なく伝えるた めの必要な要素であることに気付かせる。 ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・自分の文章を見直し、足 よりなかったところを考えと ように指示する。 (を観察) (観察) 		か、確認しながら進める。				
切かを訂正しながら進める。 分かりにくい書き方をしている。どうすればわかりやすくなるか、説明の仕方を意識させる。 ・代表生徒の発表から、なぜ誤解されたのか、なぜうまく伝わったのかを話し合う。 (随時発表) ④: 手本にしてもらいたい表現がされていたり、活る手順や指示が丁寧に書かれていたり、折る手順や指示が丁寧に書かれていたいる説明が読み手に誤解なく伝えるために必要な必要素であることに気付かせる。 ・たとえば「長方形になるように折る」や「家のような形」など、比喩の効果や説明の仕方など、誤解なく伝えるために必要など、誤解なく伝えるために必要なことを理解している。(記述の点検) ・次の必要な要素であることに気付かせる。 ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・自分の書いた文章を見直し、自己評価をする。 5分・自分の文章を見直し、足まりなかったところを考えとる。 ・足りない箇所を次の時間で書き直すように指示する。 ・自分の書いた文章を見直し、自己評価をする。		誤解があったものは、実際	②、③:表現が一部の人にしか分からな			
 る。 ・代表生徒の発表から、なぜ誤解されたのか、なぜうまく伝わったのかを話し合う。 (随時発表) (随時発表) ・たとえば「長方形になるように折る」や「家のような形」など、比喩の効果や説明の仕方など、誤解なく伝えるため、説明が読み手に誤解なく伝えるための必要な要素であることに気付かせる。 ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・自分の文章を見直し、足まりなかったところを考えとように指示する。 ・とりない箇所を次の時間で書き直すように対の書かた文章を見直し、自己評価をする。 		はどう表現することが適	かったり、複雑過ぎたりして、かえって			
・代表生徒の発表から、な ぜ誤解されたのか、なぜう まく伝わったのかを話し 合う。 (随時発表) (1) ・		切かを訂正しながら進め	分かりにくい書き方をしている。どう			
<td blue;="" blue;<="" color:="" rowspan="2" td=""><td></td><td>る。</td><td>すればわかりやすくなるか、説明の仕</td><td></td></td>	<td></td> <td>る。</td> <td>すればわかりやすくなるか、説明の仕</td> <td></td>		る。	すればわかりやすくなるか、説明の仕		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				方を意識させる。		
まく伝わったのかを話し合う。 (随時発表) の、折る手順や指示が丁寧に書かれていたり、折る手順や指示が丁寧に書かれている説明が読み手に誤解なく伝えるために必要な要素であることに気付かせる。 (記述の点検) ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 ・自分の文章を見直し、足りない箇所を次の時間で書き直すりなかったところを考えように指示する。 自己評価をする。		・代表生徒の発表から、な				
まく伝わったのかを話し合う。 (随時発表) でいる。目的語が明確に書かれていた り、折る手順や指示が丁寧に書かれている。 いる説明が読み手に誤解なく伝えるために必要なことを理解している。 (記述の点検) できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境でくりに配慮する。 ・足りない箇所を次の時間で書き直す ・自分の書いた文章を見直し、まりなかったところを考えと る。 はこれできるだけるの時間で書き直す ・自分の書いた文章を見直し、とまりなかったところを考えと ように指示する。 自己評価をする。		ぜ誤解されたのか、なぜう	④:手本にしてもらいたい表現がされ	,		
(まく伝わったのかを話し	ている。目的語が明確に書かれていた	ど、比喩の効果や説明の仕方な		
いる説明が読み手に誤解なく伝えるための必要な要素であることに気付かせる。		合う。 (随時発表)	り、折る手順や指示が丁寧に書かれて			
る。			いる説明が読み手に誤解なく伝えるた			
 ※いろいろな解釈ができる文章に関しては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境づくりに配慮する。 5分・自分の文章を見直し、足・足りない箇所を次の時間で書き直すりかかったところを考えように指示する。 ように指示する。 自己評価をする。 			めの必要な要素であることに気付かせ			
ては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境 づくりに配慮する。 5分 ・自分の文章を見直し、足まりない箇所を次の時間で書き直すまりなかったところを考えよりに指示する。 ・足りない箇所を次の時間で書き直すまります。 自己評価をする。 とる。 る。			る。			
ては、できるだけその解釈の可能性を表現できるように授業の雰囲気や環境 づくりに配慮する。 5分 ・自分の文章を見直し、足まりない箇所を次の時間で書き直すまりなかったところを考えよりに指示する。 ・足りない箇所を次の時間で書き直すまります。 自己評価をする。 とる。 る。						
表現できるように授業の雰囲気や環境 づくりに配慮する。 5分 ・自分の文章を見直し、足 ・足りない箇所を次の時間で書き直す ・自分の書いた文章を見直し、 ま りなかったところを考え ように指示する。 自己評価をする。			※いろいろな解釈ができる文章に関し			
5分 ・自分の文章を見直し、足 ・足りない箇所を次の時間で書き直す ・自分の書いた文章を見直し、 まりなかったところを考えよっ ように指示する。 自己評価をする。 とる。 る。			ては、できるだけその解釈の可能性を			
5分 ・自分の文章を見直し、足 ・足りない箇所を次の時間で書き直す ・自分の書いた文章を見直し、 まりなかったところを考えように指示する。 ように指示する。 自己評価をする。			表現できるように授業の雰囲気や環境			
ま りなかったところを考え ように指示する。 自己評価をする。 と る。			づくりに配慮する。			
とる。	5分	・自分の文章を見直し、足	・足りない箇所を次の時間で書き直す	・自分の書いた文章を見直し、		
	ま	りなかったところを考え	ように指示する。	自己評価をする。		
b)	ک	る。				
	め					